

特別
~ 4
5017
1



北越志

乾
介

武陽江西洪谷史惠協撰輯

北越志
目錄

江西人龜協從



越後國



越後國魚沼郡
民屋初夏躰



于時寛政三庚申初夏頃始テ北越ノ地ニ民家田園ヲ
墾シハヤ里ハ雪モ消ケリ此國雪中ハ茅ヲ編篋トナシ家ノ
廻リヲ抱フ是ヲ雪カト云是ナド斤付居ケリ大小ノ民家一宇
トシテ機ノ音セホルハナシ皆縮布ヲ織ナリ庭前ニ紫薇或
蓬草ナド延ラヒロゲ孰テ有ヌ家前ノ小流ニソリテ浸テ
アリ是ヲ間ニ其申不用ノ内虫食ハル為ナリト云小笹ノ藪ニイ
マダ十本程宛奇テ結テアリ是雪中ノ傍ナリ

叔上越後ト稱信別境ヨリ三四里ノ間ニ山中ニ石至テ多
ク川ノチ田ノ畔并カケ輪家廻リ土手堀等ニテ丸石ヲ以
テ積作ス往還小路ホニテ石場ヲ下駄ナトシテ歩行ナラス

亦川甚タ多ク其大ナル者ハ千陽川清津川中津川ノ三川也
其餘小川夥シクメ民家ノ前ニ小流ヲカマヘ樋ニテ家内ニ
引入用水トナス

信別善光寺ヨリ越前魚沼郡田澤村迄凡ニ五六里ノ間山中ニ
梅桃櫻一本モナシ

此土山中ニ多ク有ル木ハ松 枳 椿 楓花木 柳 躑躅
嶋ウツギ ブナノ木 イタヤ ウツギ
草ハ蕨 紫薇 款冬花 蓬草

木ニ無者ハ 銀杏 樞カヤ 柏 号木 ムクゴ木 青木 三サキ

玉ツバキ 枸杞

草ニ無者ハ ハユベ ナモミ

信別地ヨリ二十四五里ノ間大竹ノ藪一而ナシ里ニ小竹ノ藪サシツ
アリ山中ニ東都ニテ大熊籠云竹至テ多シ凡七八尺モ長ス是
ヲ多用フ

此土為甚クスナシ夜明ニモ為ナカズ大スクナシ時鳥ナカズ
越後一國ノ鬼ノ奇ナル夏秋九月ノ頃ヨリ日々白斑アラハ
雪中ノ時ノ鬼真白ニナリ亦春ニ至リ雪解ノ頃ヨリ斑

出テ三月末四月ノ頃ハ以前ノ如ク常ノ毛色ニ戻ル也是
セ不思議ノ内ナリト云

亦奇ナル夏ハ魚沼郡伊達村ノ内赤羽根ト云畑ヨリ
雷ヤノ子イシ斧石ノ石磐ノ二品此畑ヨリ出ル今年採盡ストイトモ
亦来年ハ出ルト云

同郡田澤邑ノ山中ニ字土倉土籠澤ノ角間此邊至テ
山ナリシガ疱瘡ヲ煩吉ナシテシニ疱瘡ヲ煩フ者アレハ山
後屋ヲ立是ニ移シ養生云月ス

同郡中深見邑ノ内石坂嶋ト云所ニ大石アリ廻リ十七間
アリテ此アタリノ土俗呼テ此石ヲ胴石ト云

越後国清津川
柴橋之圖



清津川

越列魚沼郡駒歸村ハツシ柴橋アリ長十間余此川
石川ニ橋柱立ル支ナラス川ノ左右ヨリ長キ丸太ヲ出根
ハ大石ヲ以テ止メ兼乃木ヲマバラニ結附テアリ是ヲ渡行スル
支又甚危シ最此川筋柴橋所ニテアリ皆如此

中津川

同郡芦ヶ崎村ノハツシ有リ是モ石川ノ荒川也此柴橋アリ
テ清津川ノ橋ト同シ

千隅川

此川越列ニテハ信濃川ト唱

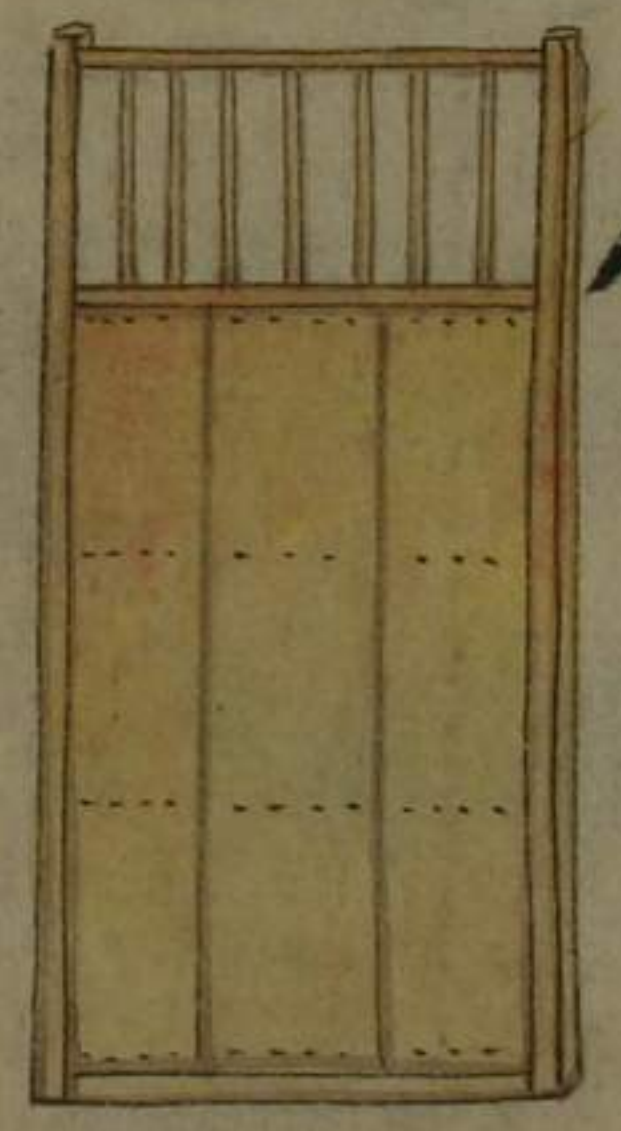
至テ荒川ニ水共信列小縣郡ヨリシ浴ル下ハ新深ニ入

魚沼郡邑吏及
富民等之屋作



上下越後國庄屋或酒造杯ニテ宜身上ノ家ニテモ玄
 關曾テナシトナ批ヲ出し下ハ土間ニテ大走ノ如クニテ葺蘆簾ヲ
 掛テ有也屋根 コウハイ 至テ早ク柱梁等ノ木品甚丈夫ノ立方
 ナリミナ出シ桁ニ有リ亦右躰ノ家ニテモ門長屋ハ勿論常
 躰ノ門ニテモ決テナク芦簾ノ後垣根アリ雪中ハ不残取拂ト
 云組堀有時ハ丸石ヲ積ル石堀也亦イカナル家ニテモ高キ処
 窓アリ是雪中ノ明取也亦座鋪書院等ノ雨戸ハ上通りハ障子ヲ
 付ル是皆雪中ノ用意也

雨戸之圖



魚沼郡土民
 等之家作



民家ニナ子木^{シモ}作りシ家根カウイ甚夕早シ枇^シラ出シ其外ラ
 簀^シニ圍イ有リ皆雪中ノ并用ト云高ク軒下ニ窓アリ亦
 家^{ムキ}向多クハ北西向ニテ南ノ方ニ三尺ノロヲ明ケ障子ヲ立テ
 アリ此内ニテ縮^シテ織^リ居ル也
 魚沼郡ノ民屋多ク床^{エカ}ナシ皆土間ニ藁ヲ散シ其上苳ヲ
 鋪テ暮ス床アリテ雪中凌カクシト云

魚沼郡山中之民農業躰



民俗山ニテ木ヲ推リ亦農作ニ出ル時モ皆編^{アヒ}結^{キヌ}ト云
 者ヲ着ヌハバキトテ藁ニテ作リタル脚半ヲハ也此土至テノ
 山中シテ万物荷ッテ交ナラズ藁ヲ以テ作シセナカウキト云者
 ヲ脊ニアテ薪杖木或ハ糞木造皆脊肩テ通用ス
 男ノ衣類皆木綿ニシテ庄屋及富家ノ主人外布子ニ
 綿ヲ入テ着ヌ又ナシ此土山中自然生^{ヤマ}山^ミ苧^ツト云者アリ
山苧ハ苧麻ノ種類ナリ此皮ヲ採リ是ヲ打キ曝シテ綿トナシ換用ス此
 國寒國ニシテ綿ノ耕實ナク是價高直ナレ故也

魚沼郡ノ婦人



越列一國ノ婦人等結布ヲ着ス又未見皆綿服ナリ
 児ガヨリ二十歳余迄ハ木綿ニ色差アル惣模様ヲ深紅
 粉深ノ木綿裏ニ同ク袖口掛廣袖ニシテ着ス亦他ノ出
 時ハ振袖ヲ着是モ木綿也二十四歳ヨリ廿六地色替リタ
 ルモアレド多クハ緋地ニシテ紋ヲ附裾模様ヲ深ク着ス
 平日ノ帯皆織縞ノ木綿也扱亦同郡信列境ヨリ二十
 里ノ間縮布ヲ織出ス婦人等此土ノ習ニヤ老年ニ及ニテモ
 眉毛ヲ剃ラズ縮ノ糸汚トテ鉄將水ヲ附ケズ髪ハ蟬鬢ト
 鬢須ナド出ス又ナク多クハ嶋田鬢貴也故ニ老兒差別且
 テナシ

雪中出行之躰



此國雪国ニシテ秋九月頃ヨリ来春二月末迄ハ
晴稀也九月頃ヨリ日々空曇リテ雪ヲ催シ十月頃
ヨリ各夜ヲ分タズ雪降ル支限リナシ別テ魚沼頭城
ノ兩郡ハ雪積甚キ地也伎晴トテモ忽チ雲ヲ起シ雪
降来ル支至テ早シ此土ニテハ雪ノミ降ララス雪ト共ニ風
烈シク山谷積ル多雪ヲ吹立暗夜ノ如ク四方ヲ失フ支
時ニアリ是ヲ雪吹ト云中ニモ風烈シキ時ハ步行ヲ止テ大樹
ト下ニ居リテ夜ヲ明シ雪ノ歇ヲ待支アリト云故ニ人々ナリ
タテ用支ハ積雪以前ニ調之支此土ノ專一也然レニ據テ
キ要用アリテ他行スル時ハ圖ノ如ク藁帽子ヲ着シ股

引ヲ著ハハキヲアテ足ハ雪ヲ著カニキヲカケテ出也如此
カニキヲ掛テハ平地ノ如ク步行ヲス漸一日ニ三里四里ヲ限
ル云亦カニキヲ掛ル支雪来カレ時ハ掛ケテ雪氷リカレ時
ハ雪斗ニテ此品ヲ不用

庭前ニ愛ス植木ノ類ハ九月ノ末ヨリ悉ク枝ヲシテ枝木ヲ以
テ添木トナシ結立テ亦寒ニ傷レ易キ者ハサシテ巻ク雪中
ノ用意甚シキ支也

冬ノ雪時屋上ノ雪ハヤ六尺ニ及ブ時ハ人ヲ以テ搔セ取ル亦
其夜ニ降レバ右ノ如ク積ル故亦取之ス雪中ニ迎モ暇ナキ支ナ
リト云也

ソリ牽ノ圖
引綱ヲ大綱ト云
長キ木ヲ白晃クシト云



越後國西南ノ方ハ上越後ト称山至テ高ク用木及葺ホ里下
 スト又ナリカクモ故ニ山中ニ東置キ雪中ヲ待テ是ヲハゴフ時ソリラ及
 テ牽クサテソリヲ遣フ儀雪丈ヲナセトモ冬寒ノ時ニテラス
 其故ハ日毎ニ降故ニ雪ヲ柔ラカメソリ尻テ走ラス春二月未
 三月ノ頃雪モ降り止ミ春ハ日ニ解ルヲ夜中ノ寒氣ニテ氷
 リカクモリ鏡ノ如ク成ル時牽ク平地ニ圖ノ如ク細テ引山ヲ登ル
 時ハ人ソリニ垂リ一タニ下ル時甚上チ下チアリテ手鍊ノ物也亦
 ソリワ一人牽クテ五俵月位積也亦ソリヲ引者目スダレトテ
 五寸四方ホトリ黒キモシノ切ニ赤キヘリヲ付面テカケル也是雪中目ヲ
 痛メサル為ナリ

魚沼郡山中俗辭

- | | | | |
|---------|-----------|----------|-----------|
| 以上 | 此處のよと云ふ也 | イツゼイ | 此處のよと云ふ也 |
| ムツキラ | 此處の社川かきと云 | ハキヤ | 此處のよんかきと云 |
| 子ヤ | 此處のよんかきと云 | ソニマ | 此處のよんかきと云 |
| キガハライ | 此處のよの毒と云ふ | ソリガイ | 此處のよんかきと云 |
| セウシラツテ | 此處のよんかきと云 | イキヤツタ | 此處のよんかきと云 |
| オラレ子ハモシ | 此處のよんかきと云 | タブユラスイナレ | 此處のよんかきと云 |
| タツケニ行 | 此處のよんかきと云 | テツキヤウスル | 此處のよんかきと云 |
| ト、モウ | 此處のよんかきと云 | | |

物之名

- 摺鉢ヲ かるばち 山峯ヲ つる糸と云

手拭ヲ てのじと云 圍炉裏ヲ ぢろと云 地炉也

團扇ヲ うすこしと云 雨ノ降ヲ あれると云

枇ヲ かんざしと云 棟ヲ ぐしと云

雪隠ヲ せしと云 戸棚ヲ こまげと云

水流ヲ 水盤と云 俎板ヲ かまどと云

紙張ヲ 紙敷と云 脇差一腰ヲ 一拵ト云 故ニ成主トニ拵みんと云

薪ヲ 魚沼郡まき川にば 死海郡まき川にば 赤子ヲ にかりこ 又赤くと云

蟻ヲ あしと云 蓆菜ヲ あしと云

小柴ヲ こしばと云 鶏卵ヲ つるりこしと云

大ノ子ヲ いごの子と云 燈ヲ あしと云

木タ鹿ヲ ひしと 火箸ヲ ぬぐい 柄杓ヲ ふちや 舟フネ

此國ノ習ニテヒフノ假名遣ニ有リ此類夥シ餘畧之

免ヲ うまを 雪ヲ ゆき

同ユトヨノ遣ニ此類多シ余畧之

魚沼郡ノ内田澤松ノ山ト云白邊ハ正月門松ヲ立ズ

是雪中ニ立ル所モナキ故ナラン

三月雛ヲ立ズ雛々ナシ

四月釋迦誕生ノ日草餅ヲセズ

五月節句職ヲ立ズ此方山中柏ノ木ナク柏餅ナシ此時

ツマキトテ大熊笹ノ葉ニテ白米ノ餅米ヲ包ミ金ニ



ユデルト一カタマリナシ是ヲ葉ヲ去リ豆粉ヲ以テ食用ス
亦笹餅トテ右ノ竹ノ葉ニ枚合セ此中へ春立ノ餅ヲハサミ
置是五月節ノ祝式也



ツマキノ圖

七月盆中聖靈祭リハ甚丁寧ナリト云サレモ其式ヲ
不見故未詳此時盆踊トテ邑々ニ踊アリ是モ一見
セサル故未詳

十月十日ヲトウカニヤト云テ至テ祭ルト云

此邊ニテ千柿ト云者ヲ作ル其仕法ハ秋天气ヲ見定メ
渋柿ヲ立ニツニハリ丈ヲ厚サニ分斗リ刻ミ篋ノ上ニ
ナラベニシテ二日程テテ丈ヲ目ノアラキ篋ニ焚火ノ上ニ
シ置夏ニ三日丈ヨリ箱ニ入風ノメヌヨウニ暫置眞ハ白粉也
也如此製衣スレハ未夏迄持ツ也其味串柿ニ等シ

同郡外九邑ノ邊ニ山午房ト云者アリ根ハ午房ニ似
葉午房ニ似テ薄ク春白色也此葉ヲ四五月ノ頃採陰乾
シ用ル時ヨクモト艾ノ如クニ成ナリ是ユテ、蕎麥ノツナキニ
入ル也亦此製衣蒲原郡ニテハ餅ニツキ入ル也

魚沼郡山居ノ婦人等 笹餅ハサミ 釧カウカイ 甲銀カネホナシ比白真鍮

ノ焼付也其中ニ伊達ヲユム見女ハ鉄ノ簪ヲ用フ
 同郡中條村ノ内往來ヨリ南方十五丁斗ノ隔リ信ノ一族中
 條越前守ノ古跡アリ故ニ今ニ條山ト呼フ
 中條邑ト木落邑ノ間ヲ千曲川流ル、舟渡シ有リテ木落邑ノ
 渡シト云

同郡内邑々田植唄ナシ田ヲ植ル時ハウタハズ田ヲ唄トテ田ヲキ
 時ハ唄ヲウタフ其文句ニ曰

○天津林の梅の花を採むりてい。ささきも
 月あまあ。ちね程。花さいてやまのうら。俵さる

編^{アミ}結^{キヌ}之圖



長二尺五寸

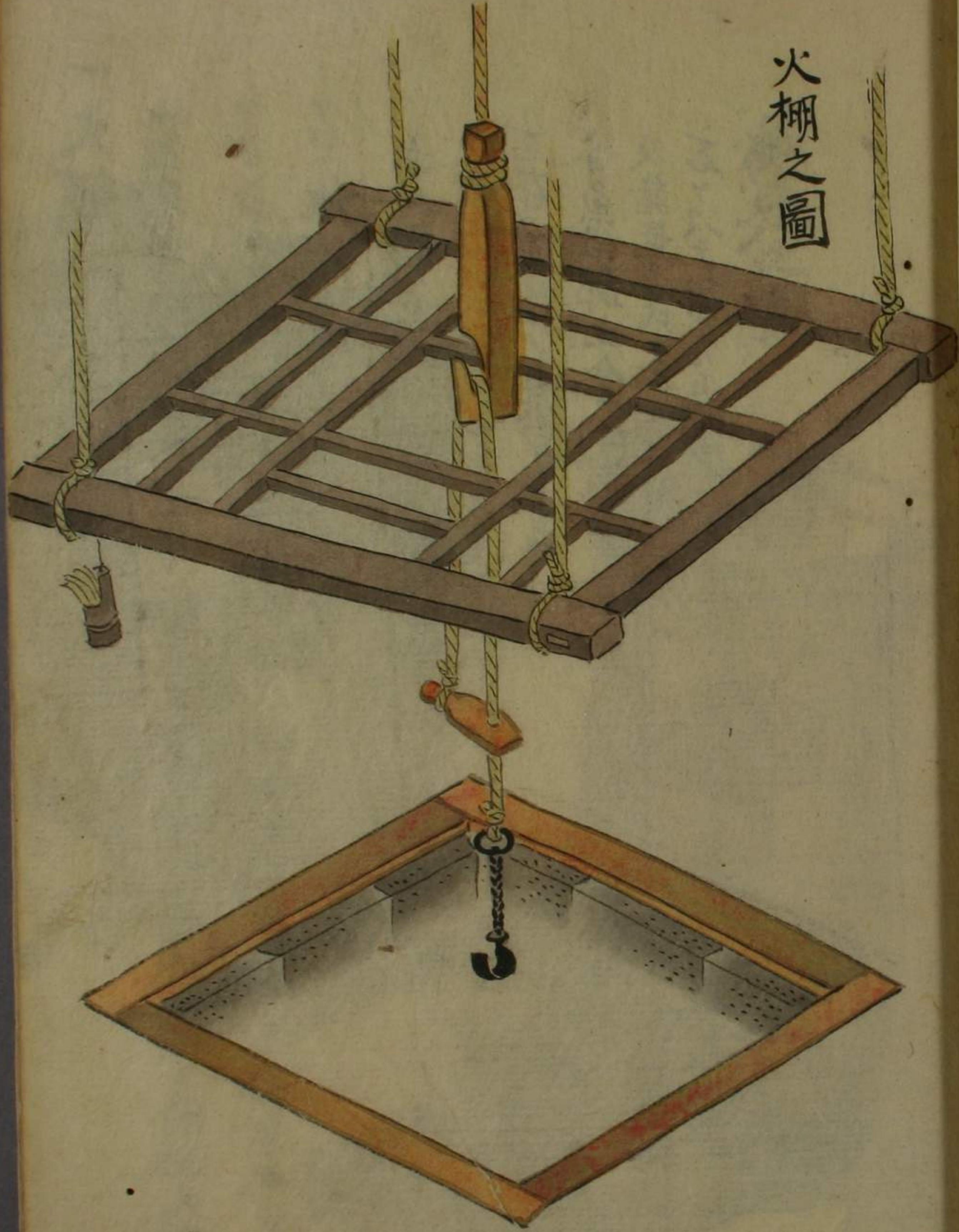
巾一尺七寸五分

丈々二尺七寸

一編結

越列魚沼郡ノ山居ノ土俗皆服之山中自然生ニヲロト云草アリ
苧麻ノ種類也此皮ヲ採制衣テ織之多ク土人雪中ノ間ニ手細子
入亦賣物ニモアリ

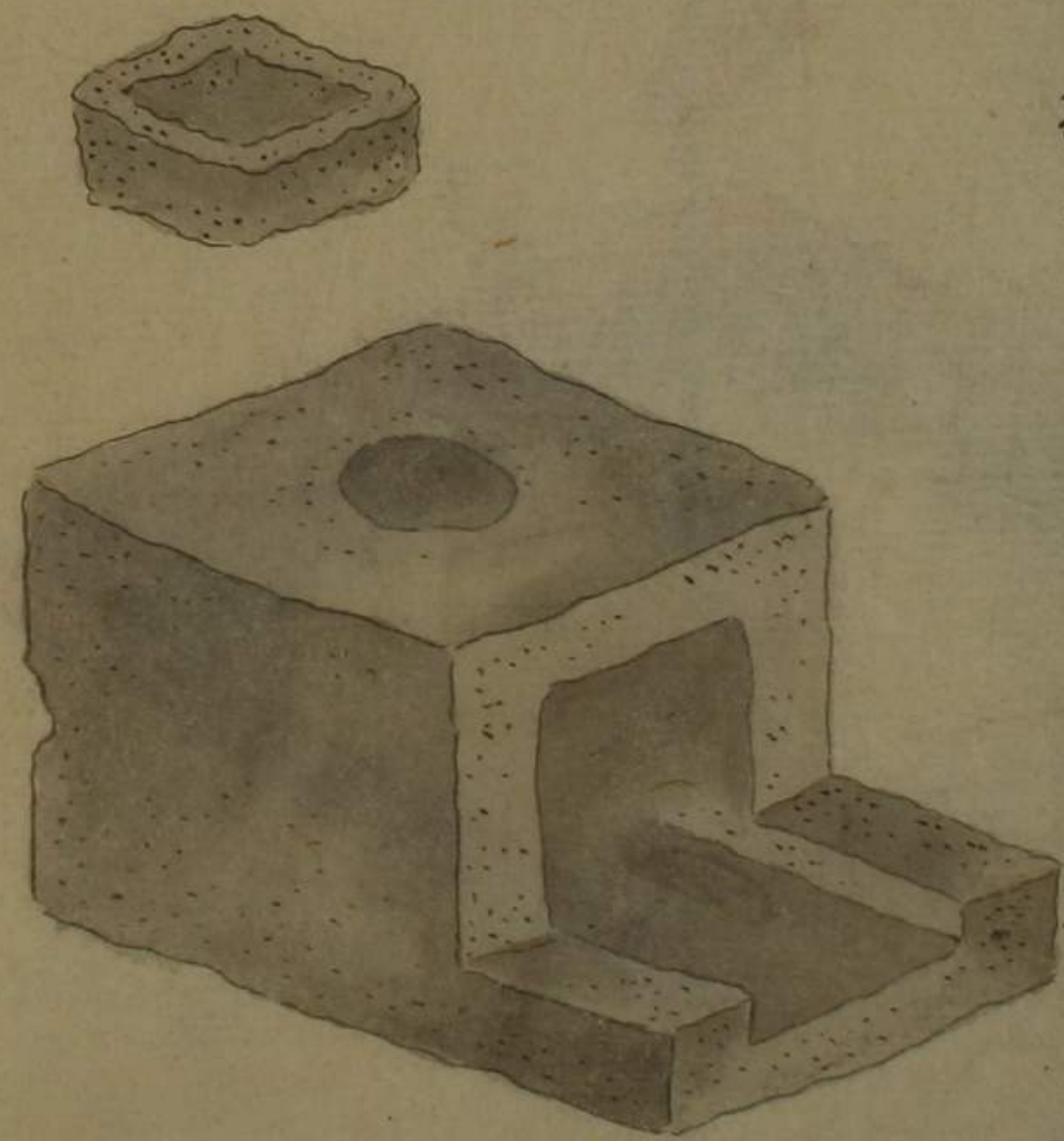
火棚之圖



一火棚

當國雪中ノ時民人等働ヲナシ水ハハキホ皆濡ル時此火棚ニ
 上テ乾ク也圓爐裏モ他國ハ細長シ當國ハ皆四方也亦此
 名テ地爐ト云

亦此國石澤山ノ国故ニ石竈
 アリ上ノ口至テ小シ差渡五寸程
 毛有是物ノ者莫早ト云
 亦魚沼郡土倉土龍澤ノ山中
 及諸邑ノ民家亦平日用ル火入ハ
 石ヲ以テ刻タル者多ト是鬼カ
 城ノ火入ノ如シ



紙張之圖



一紙帳

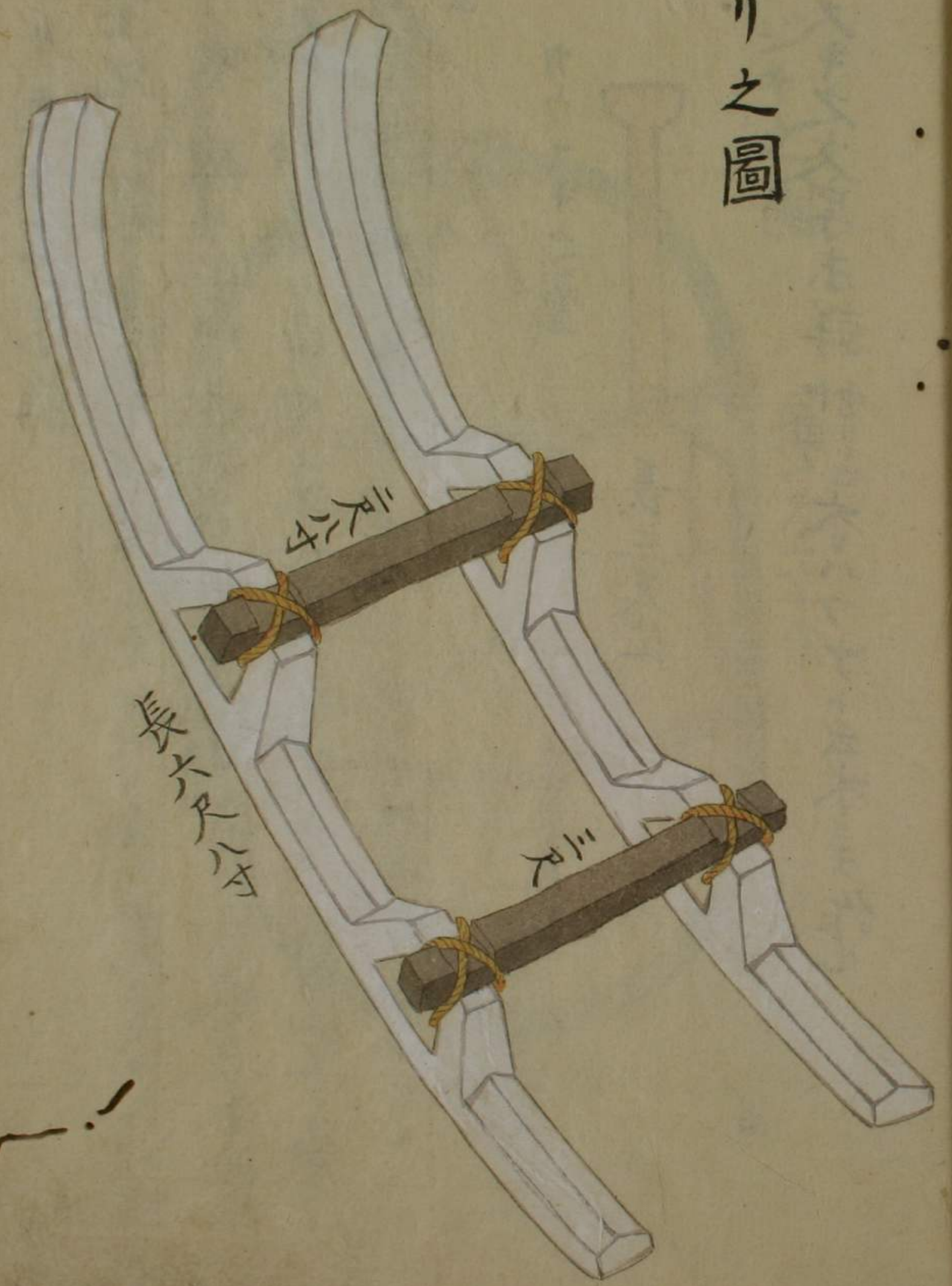
此品ヲ紙張ト稱ヘ其申ニツル品ヲハ紙蚊屋ト云紙張ハ厚紙ヲ張
 立造ヲ引上ニ鉄釘ヲ附紐ヲ通シ且室所地爐ノ眼ナト是ヲハリ
 テ寒風ヲ凌ノ品也

長尺五寸斗



一此カニジキ蒲原郡上保内村ノ邊皆沼田也稻蒔時用之

ソリ之圖



一ソリ之文字未詳

此土地ノ一説ニ雪舟ト書ト云之義ヲカリタル者又ハソリノ木ハ櫻ヲ上品トス亦こ子バリ。イタヤト云木ニテモ作ルこ子バリ。イタヤノ全圖別ニ出スソリハ雪中ノ車也冬雪丈ニ及フ時山上ニ登リ此ソリニ柴ヲ積テ雪上ヲ走リシ洛ト云也此時甚上手下手アリト云

カウスキ之圖



長三尺位

一カウスキ之文字未詳 他四ノ雪カキ也木ハブナト云木ニテ作ル

カンジキ之圖



長一尺二寸余

カキ

一カシジキ之文字未詳

亦一説ニ寒カト書トモ云輪ハ多クハ竹ヲ以テ作ルホトウ
ツラト云木モ用フトウツラノ
圖別ニ出ス亦一品スカリト云物アリ狀カシジキノ如
ノ大キナル者也亦一品鼻カシジキト云アリ

ハギ之圖



一脚半也當國布ニテ持^レ夏ナシ皆藁ヲ以テアミタル者ナリ
是雪中働キ宜キ為ナリト云

藁帽子之圖



草鞋
スシベ



草履スシベ

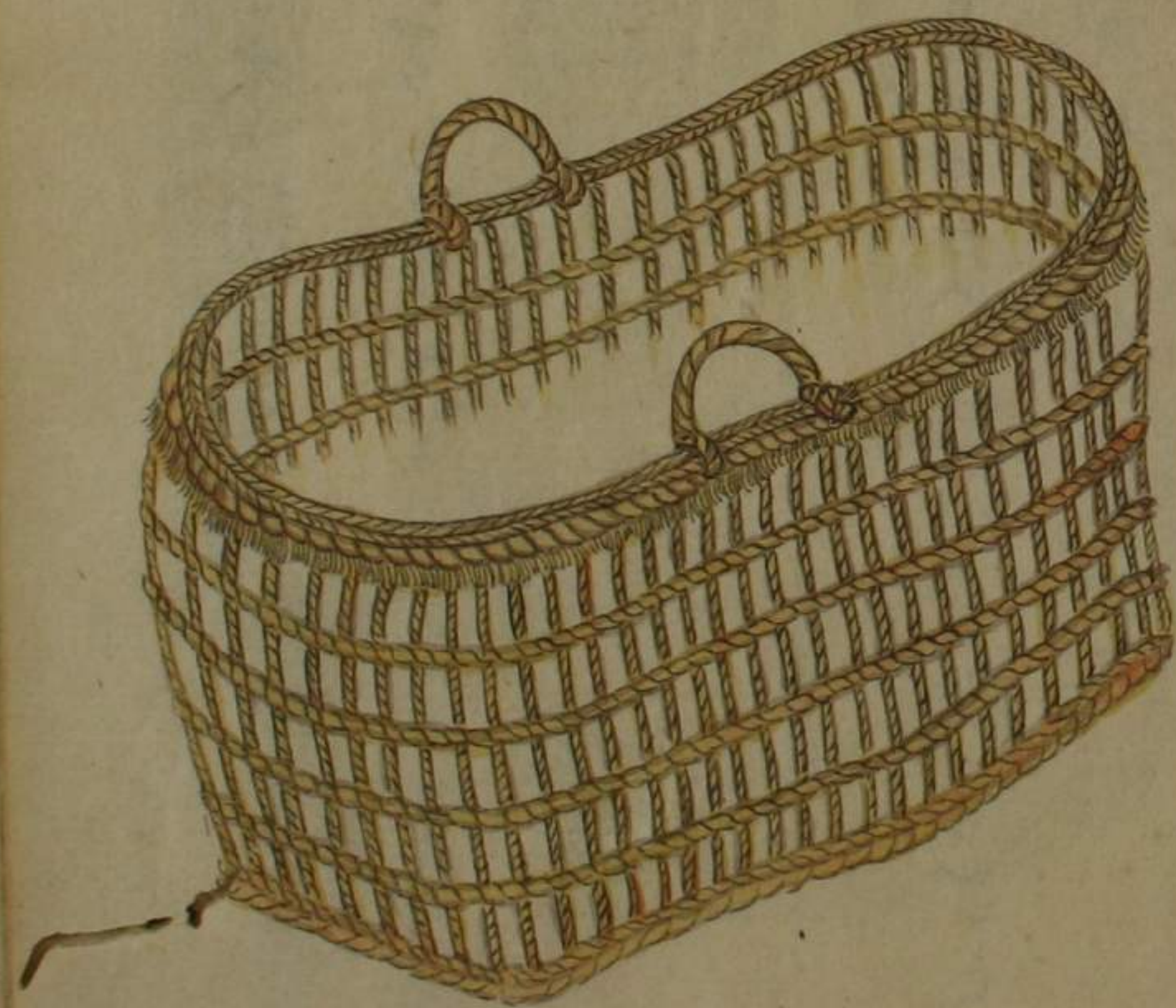


一 藁帽子

藁ヲ以テ作之雪中甚ノ要具ナリト云越前魚沼郡ノ山中ニテ多ク
用之



茶出之圖



テゴ之圖

亦同列上田島邊ニ
テハタスト云

雪沓



アグトカケ

ホシビカラミ氏云



一茶出し

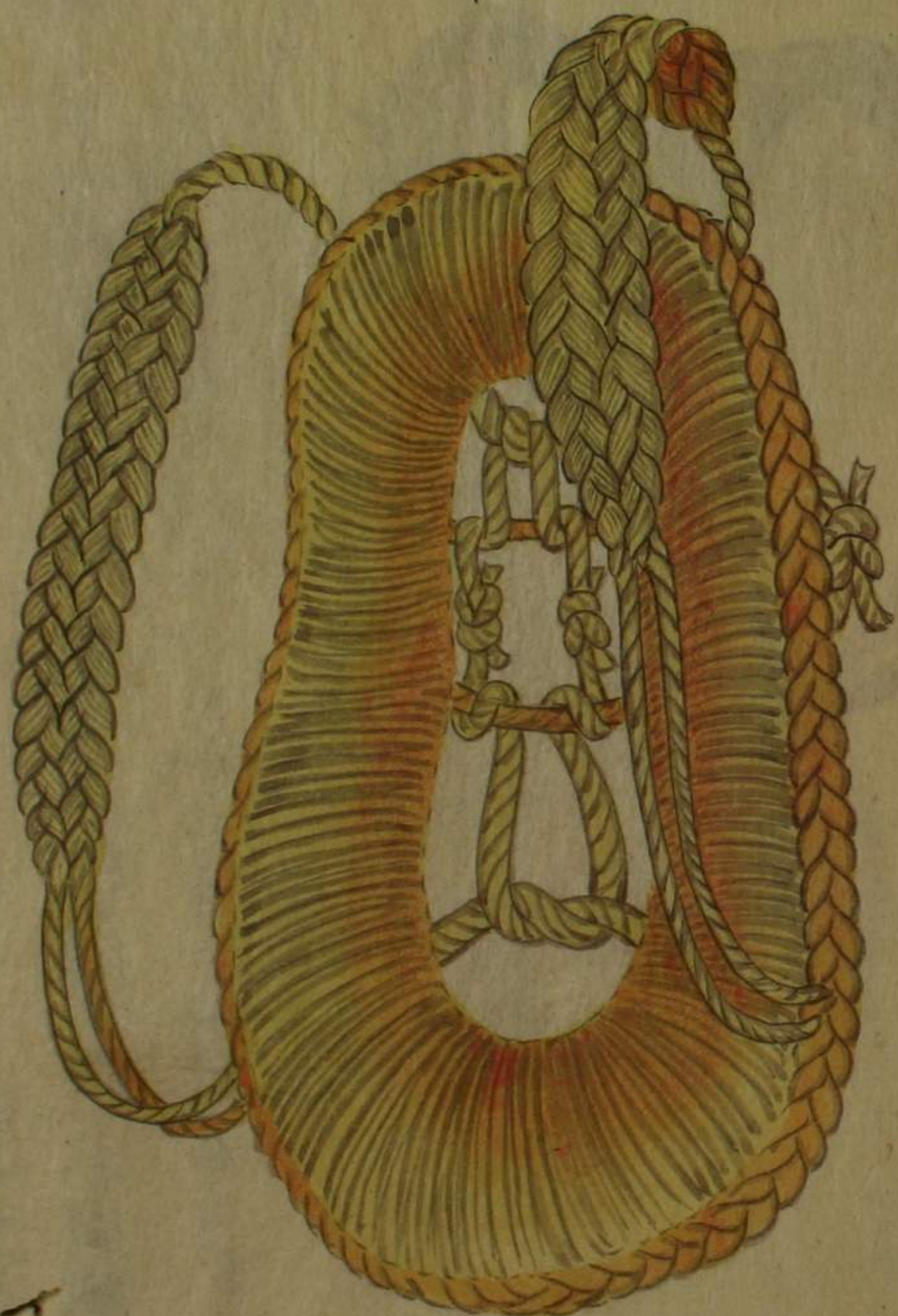
ヤリ常ノ銅茶鑪ニテ弦ナク木ノ柄ヲ付テアリ他國ニテハ此品ヲ
越後ヤクハント稱扱容人未ルト此ヤクハノ中ニ茶ヲ入火ニテ煎テ之
クハニスノ白湯ヲ差ニハナトス

一テゴ

繩ニテ作ル其細工甚手降也諸品此テゴ今持ハユテ投シ落シテモ損
スル事ナシ全クハ當國竹スクナキ故ニ竹籠ノ代リニ皆用之

セナカウジ之圖

越列魚沼郡ノ邊皆用之



長九二尺斗

一セナカウジ

スベテノ物ヲ脊負時是ヲマテ、脊負藁ヲ以テ作ル亦同國ニテモ
所ニ奇テ形状一ツナラス下越後小千谷邊ヨリ柏崎ト云方尤形也



胴篋之圖



一胴ニ魚沼郡邊比皆用之藁ノ^ミヲ以テ作ル細工甚見吉也

猿蓑之圖



一頸城郡田村ノ邊ニテ專ラ用之上毛ハミゴヲ以テ作り下ハヒロハト云草ヲ以テ作ル此ヒロハ水草シクニ似タル者ナリ

魚沼郡内山皆此鈍ヲ用フ山谷共石場ナルガ故也

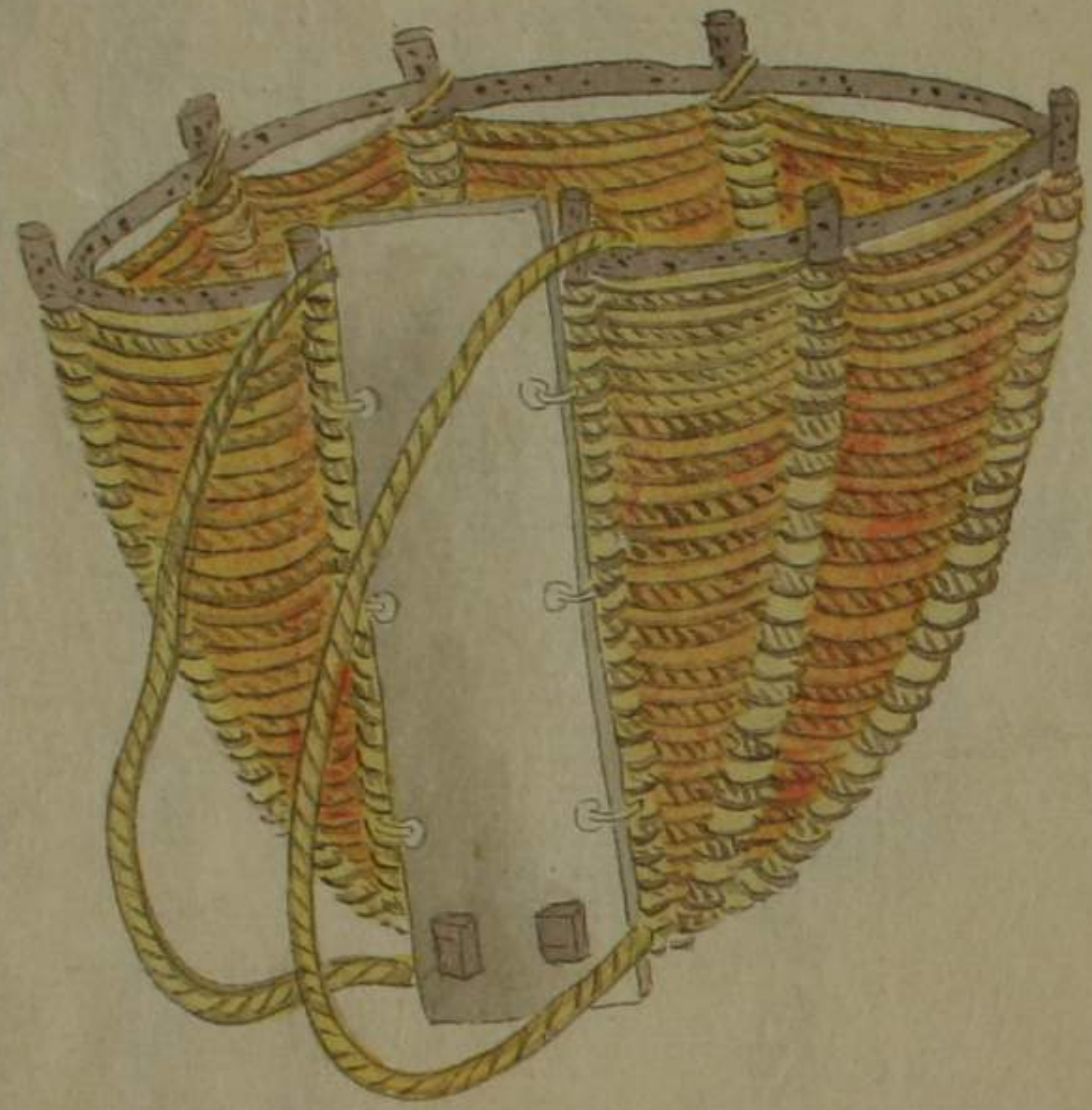
山鈍



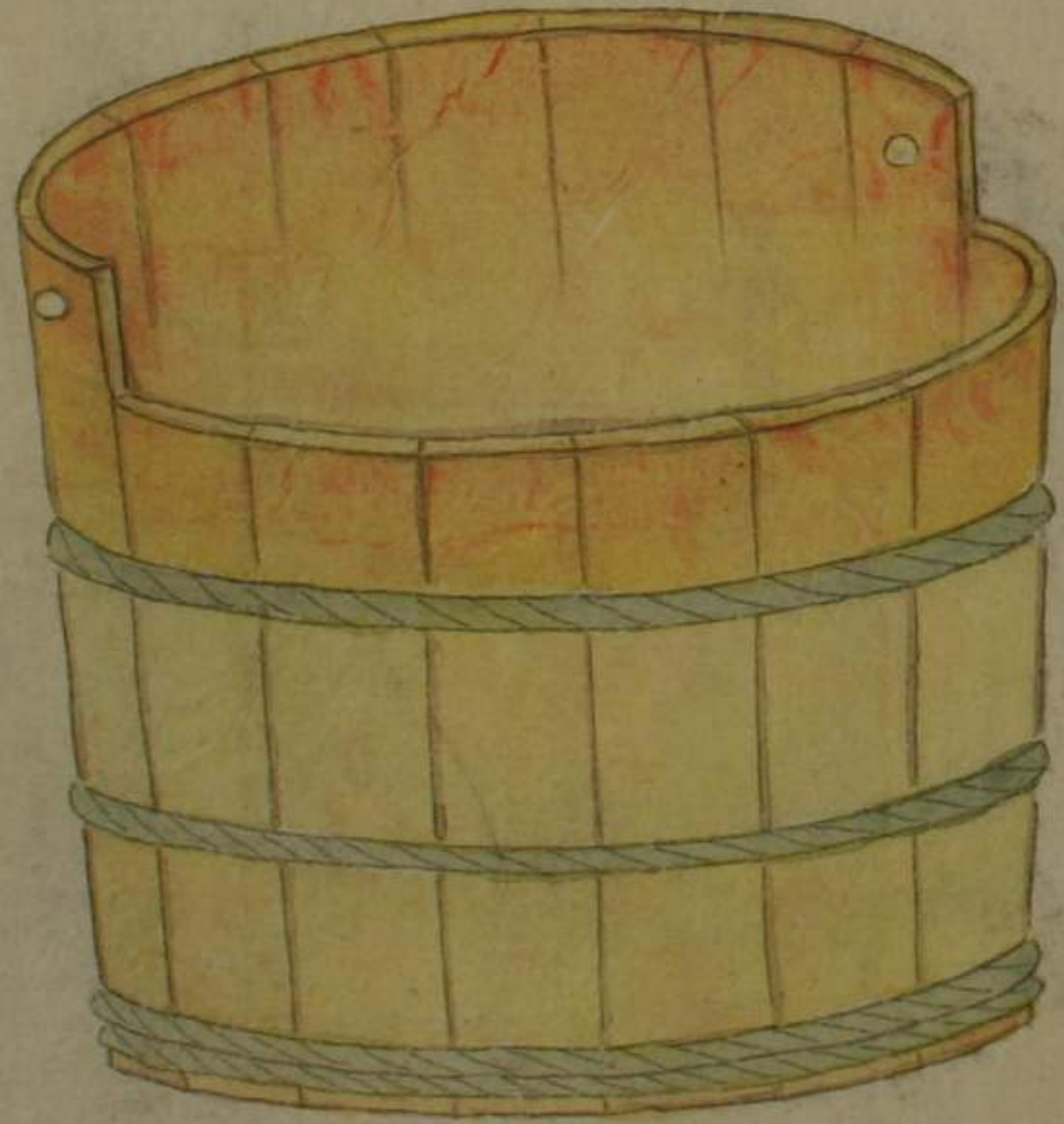
鋸



同郡皆用之鋸臺木ノ間ニ穴アリ是水ヲヌク為ナリト云



糞籠



糞桶

越列 薄原郡ノ邊用之

ツキノ之圖

信列水内郡邊及越列魚沼郡内諸邑用之

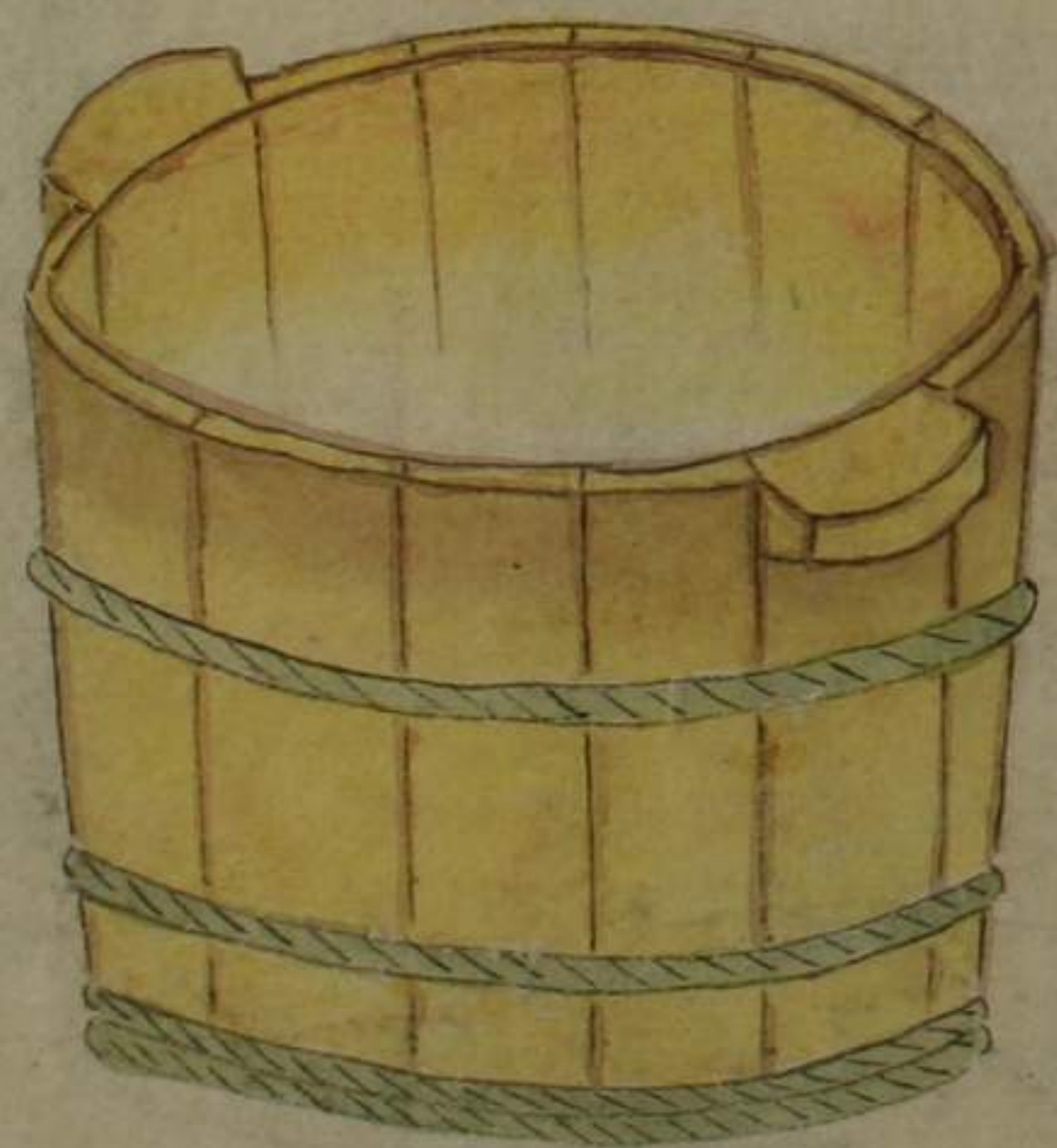
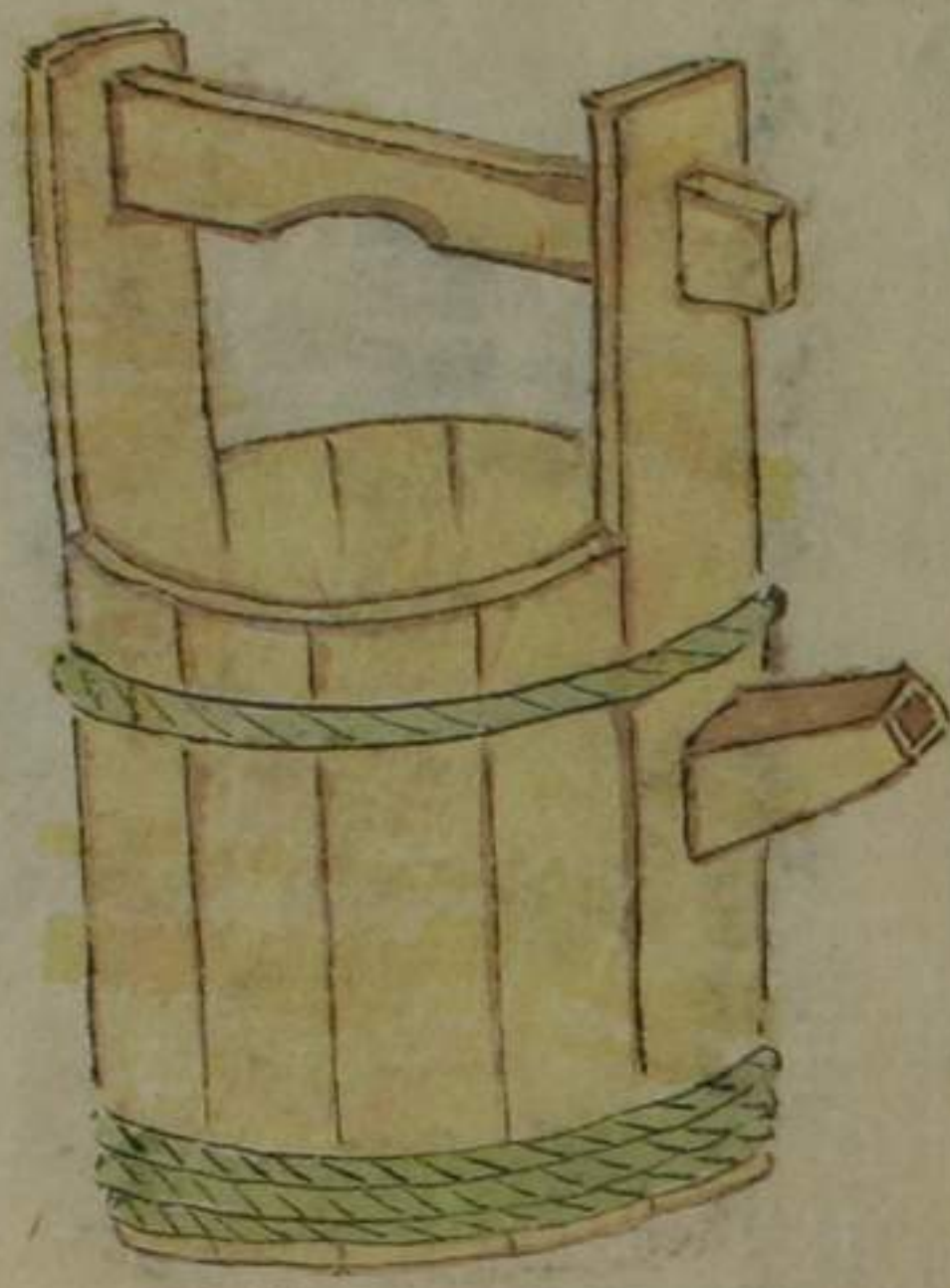


一番箕籠

細キ枝木ヲ以テ骨トナシ繩ヲカラシテ作之都而ノ物ヲ此ニテ谷肩也
此國ノ習ニテ何品ニテモ荷フ支決テナシ皆谷肩支也頭城郡ノ
内犀濱ノ白道澳ノ女子共此箕籠ニ魚ヲ入谷肩拍崎市ニ来ル

一番箕桶

形イビツシ深ニ天斗有リ此桶ニ箕ヲ入谷肩也



一手桶ニシテ竹ノ者越列上處ニテ用之口ヲ木ニテ作ルモ有或ハ
竹ヲ差タルモ有リ

一諸ノ桶ニ兩方ニ枚ノ子ニ切掛アリテ取手トス魚沼郡ノ内々用テ



蘆朶

一越後一國ハ何レノ民家ニテモ是非如此物ヲ其屋所ニ鈎シテアリ魚
沼郡ノ邊ハヤニメカジカノ魚ヤド串ニ差焼テサシテ有其外串小カツ
ハヤド皆此物ニ差置吉也



一此木桶ニ嶋郡寺泊ノ宿邊ノ酒屋ノ通イナセ

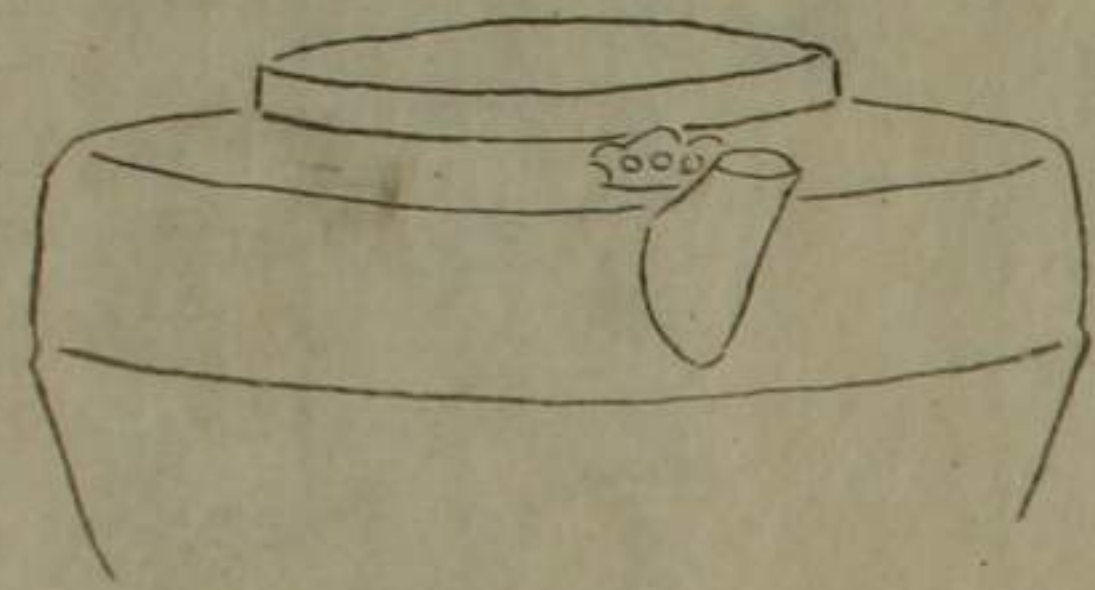


一越州魚沼郡魚邊山中ヨリ伐出ス麓及一本トテ根ノ曲ラハル
 ハシ其故ハ冬中雪ニ埋リ倒レ居テ衝ク春ニ至テ立上ル故也小木
 柴ノ類斗ニ非ズ大樹ニテモ皆根ニ曲リ有テ用木トナス根ノ方三
 尺斗伐取リ餘ヲ用フ亦槓ハ長サ四尺斗大割ニシタ物也是圓
 炉裏ニ有矣故也

一同國同郡及頸城郡三嶋郡内大竹ノ数决テナシ山中ニ生ス笹竹
 ニテ是モ雪中倒レ卧ス故比皆根ニ曲リテ有リ蒲原郡ニ入テハ雪淺キ
 故ニ竹藪アリ竹木ノ根モ曲リナシ

年曆不知越後國魚沼郡
 田澤村ノ地内長者屋鋪跡
 ヲリ堀出ス茶釜之全圖鉄
 鑄物也同邑百姓清吉所
 持之品

平横ヨリ
 見ル圖



下總國千葉郡嶋田村
 年奇百姓徳右清門所持
 之鍋鉄鑄物三寸有之
 凡二百年未用之其以
 前ヲ不知

亦此鍋異形之器
 因テ爰ニ出ス



五反田村
 齊藤庄平
 主

寬政庚申復月

